

令和 4 年 度

博士課程後期 3 年の課程学生募集要項

(令和 4 年10月進学・編入学)

〔一 般 選 抜(進 学)〕

〔一 般 選 抜(編入学)〕

〔社 会 人 特 別 選 抜(編入学)〕

〔外国人留学生等特別選抜(編入学)〕

令和 4 年 4 月

東北大学大学院工学研究科

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集要項の内容を変更する場合がありますので、本研究科下記 URL の大学院入試情報 Web ページに注意してください。

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/>

【工学研究科の入学選抜方針（博士課程後期3年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には、創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す、次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学に関する幅広い基礎知識、自分の研究分野に関する高度な専門知識とそれらを柔軟に展開する能力
2. 自分の研究の意義と成果を論理的に発表し、討論できる能力

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生等特別選抜、および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

一般選抜および外国人留学生等特別選抜では、各選抜の実施単位である系・専攻ごとに工学に関する基礎知識と専門的知識を評価する筆記試験等、語学力、入学者としての適性を見るための面接試験等を適宜組み合わせを行い、特に筆記試験等を重視して選抜を行います。

社会人特別選抜では、系・専攻ごとに研究計画の評価および研究意欲等の適正を見るための面接試験等を行い、それらを総合的に評価して選抜を行います。必要に応じて工学に関する基礎・専門的知識や小論文の評価を合わせて選抜を行います。

なお、入学前に、主体的に研究を行うために必要な研究経験や基礎学力を身につけておくことを希望します。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

後期課程にあつては、社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、独自の発想によってその課題を展開させ、国際水準の論文をまとめて国際学会等で発表かつ討論できる能力を有するとともに、関連の専門分野においても主体的に研究を遂行できるだけでなく、将来とも自己啓発し、リーダーとして世界的に活躍できる人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して、博士（工学）の学位を授与する。

1. 社会的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、研究を実践する能力
2. 独自の発想による課題解決能力
3. 他分野に応用できる思考能力
4. 国際学会等で発表するに十分な語学力・論文執筆能力・ディベート力・コミュニケーション能力
5. 研究指導を行う能力
6. 研究またはプロジェクトをマネジメントする基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し、研究を実践する能力、その研究課題を独自の発想によって展開し、国際水準の論文として纏めることができる能力、さらにこれらを通じて他分野にも応用展開できる思考能力を育成する。
2. 研究成果を国際学会等で発表かつ討論するに十分な語学力・ディベート力・コミュニケーション能力を育成する。
3. 専門分野において研究指導を行うことができる能力を育成する。

上記の方針を実践するため、工学研究科全体で共通科目を開講するとともに、専攻ごとに学際基盤科目、専門科目、関連科目を設定し、カリキュラムマップにより博士前期課程を含めた教育課程の全体像を把握できるようにしている。学際基盤科目は主に講義形式で提供し、専門科目は特別講義、特別研修、セミナー、博士研修等で構成されている。講義形式の科目は、各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し、科目ごとに教授内容、達成方法、時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。博士研修は個別の課題に関する研究と博士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力や展開力、俯瞰力、語学力・ディベート力等を養う。

講義科目では、定期試験やレポート等の手段により基礎知識、基礎学力、専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。博士研修では研究室における研究活動、国内外の学会における発表、博士学位論文および審査会における議論の内容を基に、下記の項目を指導教員が評価する。

- 1) 研究またはプロジェクトの企画・立案・遂行能力
- 2) 学術論文や技術資料の調査・分析能力
- 3) 国際水準の学術論文を執筆するための基礎学力
- 4) 関連分野の研究を評価する能力
- 5) 国際学会等での論文発表・討論・コミュニケーション能力
- 6) 学部ならびに大学院前期課程の学生に対する研究の補助および研究を指導する能力

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
機械機能創成専攻	若干名	応用化学専攻	若干名
ファインメカニクス専攻	〃	化学工学専攻	〃
ロボティクス専攻	〃	バイオ工学専攻	〃
航空宇宙工学専攻	〃	金属フロンティア工学専攻	〃
量子エネルギー工学専攻	〃	知能デバイス材料学専攻	〃
電気エネルギーシステム専攻	〃	材料システム工学専攻	〃
通信工学専攻	〃	土木工学専攻	〃
電子工学専攻	〃	都市・建築学専攻	〃
応用物理学専攻	〃	技術社会システム専攻	〃

2 出願資格

- ◎ 一般選抜（進学）に出願できる者は、本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学している者で、令和4年9月に修士の学位又は修士（専門職）の学位を取得見込みの者としてします。
- ◎ 一般選抜（編入学）に出願できる者は、上記進学以外の者で、下記の（1）～（8）のいずれかに該当する者としてします。
- ◎ 社会人特別選抜（編入学）に出願できる者は、原則として大学等卒業後、技術者・教員・研究者等として、入学時において2年以上勤務経験があり、下記の（1）～（8）のいずれかに該当する者としてします。
- ◎ 外国人留学生等特別選抜（編入学）に出願できる者は、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、下記の（1）～（8）のいずれかに該当する者としてします。

- （1） 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和4年9月までに取得見込みの者
- （2） 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年9月までに取得見込みの者
- （3） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年9月までに取得見込みの者
- （4） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年9月までに授与される見込みの者

- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年9月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規程する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

[注1] 出願予定の者のうち、本学に雇用されている者については、令和4年5月17日（火）までに工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注2] 出願者は、入学後の研究計画等について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせてください。

[注3] 出願資格（7）による出願者は、出願資格について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせください。なお、その際必要な書類は次のとおりです。

必要書類等	摘 要
研 究 又 は 業 務 に 従 事 し た 証 明 書	所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。（社印等のあるもの・様式随意）
研 究 又 は 業 務 の 要 旨	技術者・教員・研究者等として勤務した期間のもの。 （2,000字程度、A4判2ページ）
成 績 証 明 書	出身大学の学部長が発行したもの。
そ の 他 参 考 資 料	学術論文、特許公報の写しなど。

[注4] 出願資格（8）によって出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、事前に志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）へ問い合わせてください。

3 オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（１～２ページ）や出願に必要な書類（４～１０ページ）等をよく確認してください。
- ・出願書類の「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項６～７又は９ページの指示に従い、ＡＴＭ（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。
- ・振込後、ＡＴＭの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付け、そのスキャンデータをＴＡＯの出願登録サイトでアップロードしてください。

【注】出願登録、検定料の納入だけでは、出願したことになりません。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。
- ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。
- ・一次保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。

出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上で出願情報を登録することで完了します。

出願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO と表記します。）を使って下記の手順に従い、出願期間内に申請手続を行ってください。**なお、出願期間は令和4年6月6日(月) 9:00 から6月23日(木)23:59 (日本時間) までです。**

【方法】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。

<https://admissions-office.net/portal>

2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/工学研究科/博士後期3年の課程/10月進学・編入学」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。
3. 下記の書類をPDFファイル化し、出願フォームにアップロードして提出願います。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は、入学手続時に「成績証明書」「修了証明書又は学位授与証明書」（ただし、本研究科博士課程前期2年の課程修了者は提出不要）及び出願時にPDFファイルで提出した英語スコアシートの原本を提出することが求められます。オンライン出願システムにアップロードした書類と、入学手続時に提出した原本の内容に相違がある場合、あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は、書類不備として入学許可を行わないことがあります。

〔I〕 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在籍している学生が、一般選抜（進学）を志願する場合

提出書類等	摘 要
進 学 願 書	オンライン出願システムの入学願書フォームに必要な事項を入力してください。
履 歴 書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
受 験 票	下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
あ て 名 票	オンライン出願システムのあて名票フォームに必要な事項を入力してください。

受 験 承 諾 書	【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式随意）。
-----------	--

〔注〕 現在の所属専攻以外の専攻に出願する場合の必要書類は、前記と異なる場合がありますので、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

〔Ⅱ〕 〔Ⅰ〕以外の者で、出願資格の（１）～（５）による出願者

提出書類等	摘 要
編 入 学 願 書	オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履 歴 書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
推 薦 書	本研究科所定の様式を用い、受入れ予定教員が作成したもの。 下記 URL から所定の推薦書（承諾書）ファイルをダウンロードし、事前に受け入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html （ただし、推薦書を提出できない者は、受入れ予定教員の承諾書） （金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者は、必ず推薦書を提出してください。）
大 学 院 の 成 績 証 明 書	出身大学院の研究科長が発行するもの。
T O E F L ® T e s t 又 T O E I C ® Listening & Reading Test（以下、TOEIC®公 開 テ ス ト と 記 載） ス コ ア シ ー ト 有効となる試験： TOEFL®Test PBT， TOEFL iBT® Test， TOEIC®公開テスト	下記①または②に該当する者は提出してください。ただし、応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻、都市・建築学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 一般選抜（編入学）または外国人留学生等特別選抜（編入学）で機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻、応用物理学専攻、金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻、土木工学専攻、技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜で金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者 ◆第294回から第297回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合の提出期限は【8月2日（火）】となります。当該スコアシートの提出を希望した者に対して提出方法を後日案内しますので、その案内に従って提出してください。 本研究科では、TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します（MyBest™ スコアは利用しません） 注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例）第293回 TOEIC®公開テストのスコアシートを提出後、第294回から第297回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。 注 出願期間外に提出できるスコアシートは、<u>第294回から第297回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートに限り</u>ます。

	例) 第293回までの TOEIC®公開テストのスコアシートや TOEFL®Test のスコアシートを「3 オンライン出願手続方法及び出願期間」に記載の出願期間外に提出することはできません。 注 外国人留学生等特別選抜において、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻では基準点を設けています。詳細は別表を確認してください。 <u>*受入予定教員の理由書(様式任意)をもって、スコアシートの提出免除、または願書受付期間外の第293回までの TOEIC®公開テストのスコアシート提出が認められる場合があります。</u> ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
修了(見込)証明書又は学位授与(見込)証明書	出身大学院の研究科長又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。
学部の成績証明書	出身大学の学部長の発行するもの。
修士論文の写し	修士論文の写しを提出できない者は研究の要旨(2,000字程度, A4判2ページ)
写真票・受験票	下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html 写真票には上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。
住民票	<u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。 (出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号(マイナンバー)の記載がなく、在留資格が明記されたもの)
検定料	① 下記 URL から所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html ② 検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピーを<u>検定料納付確認書に貼り付けて</u>ください。 <u>※振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名を登録すること。</u> <u>※振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの</u> ※振込手数料については、出願者本人負担となります。 金額: 30,000円 納入期限: 6月22日(水)【期限厳守】 銀行: 三菱UFJ銀行 銀行コード: 0005 支店: わかたけ支店 支店コード: 809 預金種別: 普通 口座番号: 2259225 口座名義: 国立大学法人東北大学 カナ: ダイ トリキダ イク

	②国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください（4月下旬掲載予定）。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html
あ て 名 票	オンライン出願システムのあて名票フォームに必要事項を入力してください。
受 験 承 諾 書	【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式随意）。
◎下記の書類は一般選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
日 本 語 能 力 証 明 書	外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者で、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願する者は、日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの（様式随意）を提出してください。
◎下記の書類は社会人特別選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
在 職 証 明 書	【※在職のまま編入学する者は不要です。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。（社印等のあるもの・様式随意）
◎下記2点の書類は外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
推 薦 書	出身大学院若しくは大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。（様式随意）
日 本 語 能 力 証 明 書	日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの。（様式随意） ただし、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願する者は提出不要です。 ※機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願し、日本語による教育を希望する者は「一般選抜（編入学）」を受験すること。

前記のほか、学力を表す論文・報告書等の資料をPDF ファイル化し、出願フォームにアップロードしても構いません。

〔Ⅲ〕 出願資格の（7）による出願者

提出書類等	摘 要
編 入 学 願 書	オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履 歴 書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html

研 究 計 画 書	1,000字程度, A4判1ページ
推 薦 書	本研究科所定の様式を用い, 受入れ予定教員が作成したもの。下記 URL から所定の推薦書(承諾書) ファイルをダウンロードし, 事前に受け入れの承諾を得ている本研究科の受け入れ予定教員に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html (ただし, 推薦書を提出できない者は, 受入れ予定教員の承諾書) (金属フロンティア工学専攻, 知能デバイス材料学専攻, 材料システム工学専攻を志願する者は, 必ず推薦書を提出してください。)
成 績 証 明 書	出身大学の学部長の発行するもの。
TOEFL® Test 又 TOEIC® Listening & Reading Test (以下, TOEIC®公開 テストと記載) スコアシート 有効となる試験: TOEFL®Test PBT, TOEFL iBT® Test , TOEIC®公開テスト	下記①または②に該当する者は提出してください。ただし, 応用化学専攻, 化学工学専攻, バイオ工学専攻, 都市・建築学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 一般選抜(編入学)または外国人留学生等特別選抜(編入学)で機械機能創成専攻, ファインメカニクス専攻, ロボティクス専攻, 航空宇宙工学専攻, 量子エネルギー工学専攻, 電気エネルギーシステム専攻, 通信工学専攻, 電子工学専攻, 応用物理学専攻, 金属フロンティア工学専攻, 知能デバイス材料学専攻, 材料システム工学専攻, 土木工学専攻, 技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜で金属フロンティア工学専攻, 知能デバイス材料学専攻, 材料システム工学専攻を志願する者 ◆<u>第294回から第297回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合の提出期限は【8月2日(火)】となります。当該スコアシートの提出を希望した者に対して提出方法を後日案内しますので, その案内に従って提出してください。</u> <u>本研究科では, TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します(MyBest™ スコアは利用しません)</u> 注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第293回 TOEIC®公開テストのスコアシートを提出後, 第294回から第297回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。 注 <u>出願期間外に提出できるスコアシートは, 第294回から第297回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートに限ります。</u> 例) 第293回までの TOEIC®公開テストのスコアシートや TOEFL® Test のスコアシートを「3 オンライン出願手続方法及び出願期間」に記載の出願期間外に提出することはできません。 注 外国人留学生等特別選抜において, 機械機能創成専攻, ファインメカニクス専攻, ロボティクス専攻, 航空宇宙工学専攻では基準点を設けています。詳細は別表を確認してください。 <u>*受入予定教員の理由書(様式任意)をもって, スコアシートの提出免除, または願書受付期間外の第293回までの TOEIC®公開テストのスコアシート提出が認められる場合があります。</u> ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

卒業証明書又は学位授与証明書	出身大学の学部長又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。
研究又は業務に従事した証明書	所属長が発行し、技術者・教員・研究者等として2年以上研究に従事したことを証明するもの。(社印等のあるもの・様式随意)
写真票・受験票	下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html 写真票には上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。
住民票	<u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。 (出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号(マイナンバー)の記載がなく、在留資格が明記されたもの)
検定料	① 下記 URL から所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html ② 検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピーを<u>検定料納付確認書に貼り付け</u>てください。 ※<u>振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名</u>を登録すること。 ※<u>振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの</u> ※振込手数料については、出願者本人負担となります。 金 額：30,000円 納入期限：6月22日(水)【期限厳守】 銀 行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259225 口座名義：国立大学法人東北大学 カ ナ：ダイトウキョクダク ②国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください(4月下旬掲載予定)。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html
あて名票	オンライン出願システムのあて名票フォームに必要事項を入力してください。
受験承諾書	【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの(社印等のあるもの・様式随意)。

◎下記の書類は一般選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
日 本 語 能 力 証 明 書	外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者で、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願する者は、日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの（様式随意）を提出してください。
◎下記の書類は社会人特別選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
在 職 証 明 書	【※在職のまま編入学する者は不要です。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式随意）
◎下記２点の書類は外国人留学生等特別選抜（編入学）志願者のみ提出願います。	
推 薦 書	出身大学院若しくは大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。（様式随意）
日 本 語 能 力 証 明 書	日本語教員・指導（予定）教員等が作成したもの。（様式随意） ただし、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願する者は提出不要です。 ※機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻を志願し、日本語による教育を希望する者は「一般選抜（編入学）」を受験すること。

前記のほか、学力を表す論文・報告書等の資料を PDF ファイル化し、出願フォームにアップロードしても構いません。

[Ⅳ] 出願資格の（６），（８）による出願者は、出願書類等について事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

4 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和４年８月３０日（火）から９月１日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（試験の詳細については、各専攻から本人あてに通知します。）

5 合 格 者 発 表

令和４年９月７日（水）１７時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に発表する予定です。

なお、合格者に対しては、合格通知書を郵送します。電話による問い合わせは回答できません。

6 入学手続等

(1) 入学手続は、9月16日(金)に実施の予定です。詳細については、令和4年9月上旬に入学手続書類を送付する際にお知らせします。

(2) 入学時の必要経費

編入学の場合

- ① 入 学 料 282,000円(予定額)
- ② 授業料後期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

進学の場合

- ① 入 学 料 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は不要です。
- ② 授業料後期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

注1 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、令和4年9月上旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。また、免除、徴収猶予等の手続きに関しては、東北大学のウェブサイト(<https://www.tohoku.ac.jp/>) にアクセスし、「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

7 長期履修学生制度の適用

本研究科では、特別の事情〔注1〕によって、標準修業年限である3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

入学時に長期履修学生制度の適用を希望する者は、合格後の入学手続き日までに所定の願い出を行う必要があります。また、在学途中からの長期履修学生への変更もできますが、その場合の長期履修期間は標準修業年限内における残り在学可能期間の2倍までとなります。なお、標準修業年限内における残り在学可能期間が1年未満の者は変更できません。

- 〔注1〕 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者
- ② 出産・育児、介護等を行う必要がある者
 - ③ その他、本研究科が適当と認める者(経済的な理由を除く。)

〔注2〕 長期履修期間は6年を超えることはできませんが、許可された長期履修期間の短縮を願い出ることとはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

8 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 入学後、教務関係の業務については、本学より業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の全部又は一部を受託業者に提供します。

9 注 意 事 項

- (1) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (2) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。
- (3) 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- (4) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：原則として令和4年5月30日（月）まで

＊申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上配慮を希望する事項
 - ④ 修学上配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (5) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和4年4月

東北大学大学院工学研究科

(工学部・工学研究科教務課大学院教務係)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話 (022) 795-5820

e-mail : eng-in@grp.tohoku.ac.jp

別表(後期3年の課程:令和4年10月:一般選抜(進学), 一般選抜(編入学), 社会人特別選抜(編入学), 外国人留学生等特別選抜(編入学))

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
機 械 工 学 専 攻 航 空 宇 宙 工 学 専 攻 フ ロ イ ド 工 学 専 攻 機 能 材 料 工 学 専 攻	進 学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。 英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	願書受付期間後に提出できる回の TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。 (1) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 (5) 8月31日(水)は予備日とするので空けておくこと 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
		数 学 A (必答)	8月30日(火) 9時30分～10時30分 (集合時間 8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	
		数 学 B (必答)	8月30日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	
		専門科目 (選択)	8月30日(火) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目から2科目を選択	
		面 接	9月1日(木) (集合時間は専攻より指示する)	修士論文等の内容および入学後の研究希望等	
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。 英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	願書受付期間後に提出できる回の TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。 スコアシートにおける TestDate スコアが基準点(TOEFL-PBT550 点、TOEFL-iBT79 点または TOEIC730 点)に満たない場合は「不合格」とする。 (1) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 (5) 8月25日(水)は予備日とするので空けておくこと 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
		数 学 A (必答)	8月30日(火) 9時30分～10時30分 (集合時間 8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	
		数 学 B (必答)	8月30日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	
		専門科目 (選択)	8月30日(木) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目から2科目を選択	
		面 接	9月1日(木) (集合時間は専攻より指示する)	修士論文の内容等自身のこれまでの研究および入学後の研究希望等	
	社 会 人	口 頭 試 問 等	8月31日(水) 又は 9月1日(木) (集合日時は専攻より指示する)	<研究発表および質疑応答(30分程度)> 修士論文の内容等自身のこれまでの研究および入学後の研究希望等を発表してもらい，その後質疑応答を行なう。 <口頭試問(20分程度)> 数学・専門科目に関する口頭試問を出題する。 ※数学の出題範囲は，筆答試験の数学A・数学Bの範囲と同じ。専門科目は，筆答試験の専門5科目(熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学)の中からあらかじめ2科目を選択してもらい出題する。それらの出題範囲は筆答試験と同じ。	(1) 研究業績や研究歴等により，有資格者と認められた者については，口頭試問(20分程度)を免除し，研究発表および質疑応答を10分延長し，40分程度行なう。 免除条件の詳細および口頭試問(20分程度)の免除申請方法については受入予定教員に問い合わせること。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/ 詳細は専攻に問い合わせること。 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
量子エネルギー工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
	編入学，外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、いずれのスコアシートも提出できない受験希望者については、募集要項で求めるスコアシートの提出がない場合でも、今回に限り出願を受理する。その場合、大学入学以降の英語の学力を示す資料(英検、TOEFL ITP、TOEFL iBT Special Home Edition Test 等)を可能な限り添付するものとし、いずれもない場合は大学の成績証明書を添付し、出願すること(本学工学部在籍者は大学の成績証明書は提出不要である)。
		数 学 A (必答)	8月30日(火) 10時00分～11時00分 (集合時間 9時30分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/
		数 学 B (必答)	8月30日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(3) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため，実施方法に変更がある場合には後日通知する。
		専門科目 (選択)	8月31日(水) 10時00分～11時00分 (集合時間 9時30分)	領域Ⅰ：流体力学，材料力学，機械材料科学，電磁気学，量子力学，化学基礎 領域Ⅱ：放射化学，放射線工学，原子炉物理学 以上の9科目から2科目を選択(領域Ⅱから選択できるのは1科目まで)。	専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
		面 接	9月1日(木) (集合時間は専攻より指示する)	修士論文の内容等自身のこれまでの研究および入学後の研究希望等を発表し(20分程度)、その後質疑応答を行う(20分程度)。	
	社会人	口頭試問等	8月31日(水) 又は 9月1日(木) (集合日時は専攻より指示する)	＜研究発表および質疑応答(30分程度)＞ 修士論文の内容等自身のこれまでの研究および入学後の研究希望等を発表し、その後質疑応答を行う。 ＜口頭試問(20分程度)＞ 数学・専門科目に関する口頭試問を出題する。 ※数学の出題範囲は、筆答試験の数学A・数学Bの範囲と同じ。専門科目は、機械工学，材料工学，化学工学，原子力工学，放射線工学の中から受験者の専門に応じて2問を出題する。	(1) 研究業績や研究歴等により，口頭試問(20分程度)を免除することがある。ただしその場合、研究発表および質疑応答を10分延長し，40分程度行う。 免除条件の詳細および口頭試問の免除申請方法については受入予定教員に問い合わせること。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/ 詳細は専攻に問い合わせること。 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
電 通 電 気 エ ネ ル ギ ー 工 工 シ ス テ ム 学 学 専 専 攻 攻	進 学	専攻で別途選考する。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。			
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月30日(火) 9時40分～10時40分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	
		面 接	8月31日(水)又は 9月1日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(作成中含む)、及び入学後の研究希望について20分程度で発表。資料を5部持参のこと。	
	社 会 人	面 接	8月31日(水)又は 9月1日(木) (専攻より指示する)	これまでの研究の内容及び入学後の研究希望等について20分程度で発表。資料を5部持参のこと。	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	
	外 国 人 留 学 生 等	基 礎 科 目	8月30日(火) 9時40分～10時40分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については、専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		面 接	8月31日(水)又は 9月1日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(作成中含む)、及び入学後の研究希望について20分程度で発表。資料を5部持参のこと。 同時に日本語能力についても判定する。	
		面 接	8月31日(水)又は 9月1日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(作成中含む)、及び入学後の研究希望について20分程度で発表。資料を5部持参のこと。	
	応 用 物 理 学 専 攻	進 学	専攻で別途選考する。		
編 入 学		英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	入試以前(8月下旬)に専門面接試験を行う。 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月30日(火) 9時30分～11時45分	力学、電磁気学、量子力学の3問。	
		専 門 科 目	8月30日(火) 13時00分～14時30分	統計力学、物性物理の2問	
		面 接	8月31日(水) 9時00分～	修士論文の概要発表10分、および口頭試験。	
社 会 人		面 接	8月31日(水) 9時00分～	研究発表10分、および口頭試験。英語の能力を問う場合もある。	入試以前(8月下旬)に専門面接試験を行う。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		面 接	8月31日(水) 9時00分～	研究発表10分、および口頭試験。	
外 国 人 留 学 生 等		英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。(英語を母語とする学生は個別に問い合わせること。)	有資格者と認められた外国人留学生には筆答試験を免ずる。 入試以前(8月下旬)に専門面接試験を行う。 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL 022-795-7186)
		基 礎 科 目	8月30日(火) 9時30分～11時45分	力学、電磁気学、量子力学の3問。 必要に応じて英訳を付す。	
		専 門 科 目	8月30日(火) 13時00分～14時30分	統計力学、物性物理の2問。 必要に応じて英訳を付す。	
	面 接	8月31日(水) 9時00分～	研究発表10分、および口頭試験。		

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
応 化 バ 用 学 イ 化 工 オ 学 学 工 専 専 学 攻 攻 攻	進 学	専攻で別途選考する。			(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 (2) 防疫上の理由により、試験日程を変更する場合がある。 専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 TEL 022-795-7205 専攻ホームページ： http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	編 入 学	専 門 科 目	8 月 30 日 (火) 9 時 00 分～11 時 30 分	無機・物理化学, 有機化学, 生物化学, 化学工学の 4 分野より各 2 題の計 8 題の中から 3 題選択	
		英 語	8 月 30 日 (火) 13 時 00 分～14 時 00 分		
		面 接 試 問	8 月 30 日 (火) 15 時 00 分～	修士論文の概要発表及び口頭試問	
	社 会 人	面 接 試 問	8 月 31 日 (水) 9 時 30 分～	研究発表及び口頭試問	
	外 国 人 留 学 生 等	基 礎 科 目	8 月 30 日 (火) 9 時 00 分～10 時 30 分	基礎Ⅰ (無機化学, 分析化学, 物理化学), 基礎Ⅱ (有機化学), 数学の 3 題の中から 1 題選択	
		専 門 科 目		受験者の専門分野	
		面 接 試 問	8 月 30 日 (火) 11 時 00 分～	修士論文の概要発表及び口頭試問	

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
金 知 材 属 能 料 フ デ シ ロ バ イ ス ン テ イ ス テ ィ ア 材 工 料 工 学 学 学 専 専 専 攻 攻 攻	進 学	専攻で別途選考する。			
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストスコアシートを出願時に提出すること。	(1) 対象となるTOEFL®Test・TOEIC®公開テストの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html (2) 本学前期課程修了者については英語を免除することがある。 (3) 日程等については個別に連絡する。 *詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html
		一 般 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	物理、化学、材料化学、材料物性、材料加工について口頭試問	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため 対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
		特 定 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	修士論文あるいは修士課程修了後に行った研究について口頭発表	
	社 会 人	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストスコアシートを出願時に提出すること。	(1) 対象となるTOEFL®Test・TOEIC®公開テストの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html (2) 英語に関して有資格者と認められた者についてはスコアシートの提出を免除することがある。詳しくは受入予定教員に問い合わせること。 (3) 日程等については個別に連絡する。 *詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html
		一 般 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	物理、化学、材料化学、材料物性、材料加工について口頭試問	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため 対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
		特 定 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表	
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストスコアシートを出願時に提出すること。	(1) 対象となるTOEFL®Test及びTOEIC®公開テストの種類等詳細については以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html (2) 英語に関して有資格者と認められた者についてはスコアシートの提出を免除することがある。詳しくは受入予定教員に問い合わせること。 (3) 日程等については個別に連絡する。 *詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html
		一 般 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	物理、化学、材料化学、材料物性、材料加工について口頭試問	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため 対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
		特 定 専 門 試 験	8月30日(火)～ 9月1日(木) 40分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表（日本語あるいは英語）	

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
土 木 工 学 専 攻	進 学	面 接 試 問	8月31日(水)	研究内容等について試問する。	(1) 電卓・辞書および計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 口述試験・面接の日時・場所、試験時の注意事項等は専攻から通知する。 (3) 詳細は専攻に照会すること。 (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合はオンラインで実施する。詳細な試験方法については、試験実施前にオンライン接続確認を行うので、その際に連絡する。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
	編 入 学	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。	
		口 述 試 験	8月30日(火)	修士論文(現在作成中のものを含む)の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火)		
	社 会 人	小 論 文	8月30日(火) 9時30分～11時00分	土木工学関連のテーマ	
		口 述 試 験	8月30日(火)	勤務先での研究又は業務の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火)		
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。	
		口 述 試 験	8月30日(火)	修士論文(現在作成中のものを含む)の内容を15分以内で発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火) 又は 8月31日(水)		
都 市 ・ 建 築 学 専 攻	進 学	書 類 審 査		研究計画	(1) 口述試験・面接の日時・場所は専攻から通知する。 (2) 口述試験・面接はオンラインで実施する場合がある。 (3) 試験に加えて、課題提出を求めることがある。 (4) 詳細は専攻に照会すること。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
		面 接	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)		
	編 入 学	口 述 試 験	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	修士論文(現在作成中のものを含む)あるいはそれに相当するもの、及び研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	口述試験と同時に行う。	
	社 会 人	口 述 試 験	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	口述試験と同時に行う。	
	外 国 人 留 学 生 等	口 述 試 験	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	修士論文(現在作成中のものを含む)あるいはそれに相当するもの、及び研究計画の内容を発表(PC使用可)。発表の内容について試問する。	
		面 接	8月30日(火) 又は8月31日(水) 又は 9月1日(木)	口述試験と同時に行う。	

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
技術社会システム専攻	進学	専攻で別途選考する。			
	編入学、外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。	口頭試問の日時・場所は専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ホームページ： https://www.most.tohoku.ac.jp
		口頭試問	8月30日（火） ～ 9月1日（木）（専攻より指示する）	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	
	社会人	口頭試問	8月30日（火） ～ 9月1日（木） （専攻より指示する）	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	